中学校自閉症・情緒障害特別支援学級における人と関わる意識を高める支援の工夫

―自己肯定感を高めるための振り返りとソーシャルスキルトレーニングを通して―

特別支援教育班　田子　賢一（中学校教諭）

◎研究の概要

目指す姿

人と関わる意識の高まり

友達や先生にもっと話しかけてみよう

学んだソーシャルスキルを使ってみよう

うまく話しかけることができるようになってきたな。気持ちが伝わるとうれしいな。気持ちいいな。

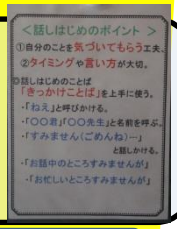
学級活動・友達とのよりよい関わり方を学ぼう

実践2　場面を考えて話そう

○身に付いたスキルの発表
○関わりのある教師から自分のよさを聞く

学習意欲
実践的態度

・既習のソーシャルスキルポイントカードの提示
・ロールプレイ体験



スキルのポイントを思い出して使えるといいね。

習ったスキルを使ってみようかな。

話しかける方法がよくわかってきました。

日常生活でのSST＜随時確認＞
質問の仕方、場を考える

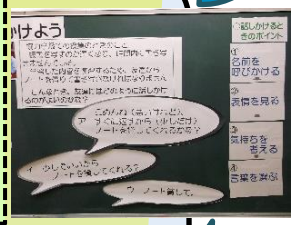
良いところを言われてうれしいです。

実践1　相手の様子や表情から気持ちを考えて話しかけよう

○関わりのある教師から自分のよさを聞く

学習意欲
実践的態度

・吹き出しによる気持ちの表現
・話しかけるポイント提示
　①名前を呼ぶ
　②表情を見る
　③気持ちを考える
　④言葉を選ぶ
・教師によるモデル演示
・ロールプレイ体験



すでに身に付いているスキルもあるよ。チェック表で振り返ってみよう。

日常生活でのSST＜随時確認＞
話の聞き方、言葉づかい

ソーシャルスキルって大事なんだな。

実践　ソーシャルスキルを学習しよう

○生徒のよさの紹介
○ビデオやチェック表で生活を振り返る

学習意欲
実践的態度

ソーシャルスキルの説明
『ソーシャルスキル＝人とうまく関わるコツ』

自己肯定感・課題解決に向けての意欲を高めるための手立て
関わり方の振り返り

関わり方を身に付けるための手立て
ソーシャルスキルトレーニング（SST）

○話がしたい
○気持ちをうまく伝えたい

生徒の実態

・自分から話すのは苦手だな。
・人と関わらなくてもいいや。

・どうやって話しかけたらいいのかな？
・友達の気持ちは？

◎成果と課題

＜成果＞
○自分のよさが認められる体験やチェック表でソーシャルスキルを振り返る活動を積み重ねていくことにより、生徒は自信を持つことができ、自己肯定感を高めることができた。
○話しかけるポイントを意識させ、具体的な場面のロールプレイを取り入れたソーシャルスキルトレーニングを行ったことで、声のかけ方を考えようとする姿が見られ、人と関わる意識を高めることができた。

＜課題＞
○ソーシャルスキルの定着には成功体験を積ませることが重要である。今後も生徒の能力に応じて計画的・継続的なスキルトレーニングを行うとともに、学んだことを生かそうとする意欲や自己肯定感を高めていきたい。
○生徒がより人と関わろうとする意欲を持てるように、自分のよさに気付ける活動を継続して行っていく必要がある。